

内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 22 年 1 月東北分 (新潟を含む東北7県) について

1. 今月のDI※

(1) 現状判断 (方向性) DI

3か月前との比較である現状判断DIは、35.3 (前月比+4.1ポイント) と、2か月連続して前月を上回るものの、横ばいを示す50を平成19年4月以降34か月連続で下回った。

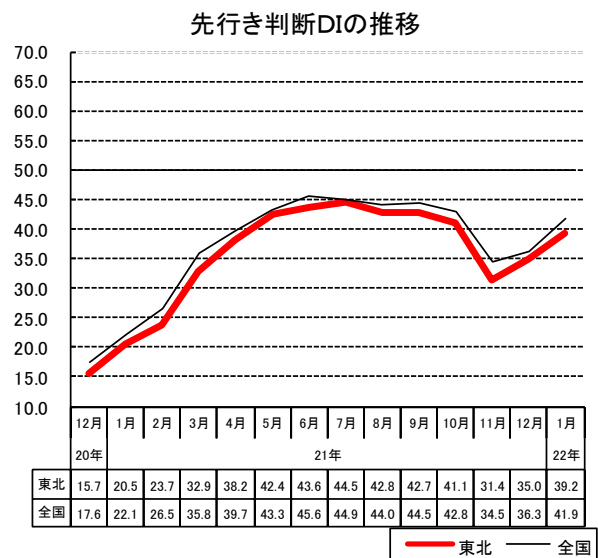
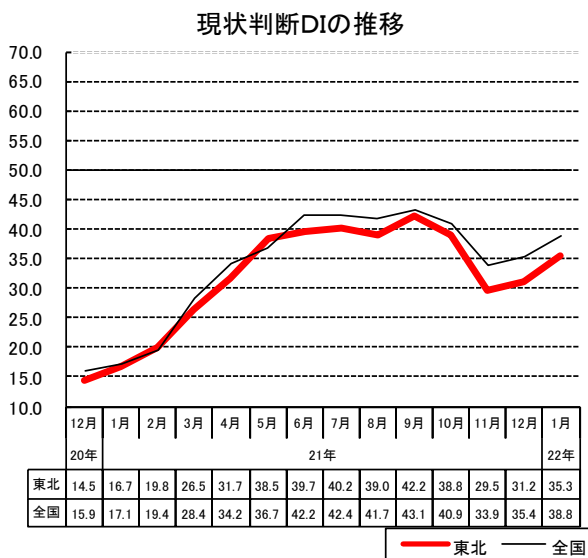
	20年		21年											22年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	14.5	16.7	19.8	26.5	31.7	38.5	39.7	40.2	39.0	42.2	38.8	29.5	31.2	35.3
家計動向関連	15.5	17.8	21.9	29.3	33.8	40.3	39.6	39.1	36.9	42.0	37.1	27.4	29.5	34.3
企業動向関連	14.0	16.7	19.5	26.3	32.1	38.4	42.1	47.0	46.3	40.9	43.1	35.3	35.0	40.6
雇用関連(参考)	8.8	9.5	8.0	9.1	15.8	26.3	35.7	34.5	38.1	46.3	41.7	32.1	35.7	32.1

(2) 先行き判断DI

3か月先を予想する先行き判断DIは、39.2 (前月比+4.2ポイント) と、2か月連続して前月を上回るものの、横ばいを示す50を、平成19年5月以降33か月連続で下回った。

	20年		21年											22年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	15.7	20.5	23.7	32.9	38.2	42.4	43.6	44.5	42.8	42.7	41.1	31.4	35.0	39.2
家計動向関連	17.0	22.2	25.7	35.5	40.6	43.1	42.4	43.1	42.3	42.5	40.4	30.9	33.6	38.3
企業動向関連	14.6	18.5	20.1	28.8	34.0	42.7	47.0	47.0	45.0	42.1	41.9	32.1	36.9	45.0
雇用関連(参考)	8.8	13.1	18.2	23.9	30.3	37.5	44.0	48.8	41.7	45.0	44.0	33.3	40.5	33.3

※DI (Diffusion Index) について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。



景気ウォッチャーの判断によれば、

東北地域の景気は、**弱い動きが続いている**、とのことである。

2. 調査の概要

調査期間 平成22年1月25日～平成22年1月31日

回答者数 196/210名、回答率93.3%（全国1,830/2,050名、89.3%）

3. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（商店街）…消費マインドに下げ止まりが感じられ、初売りでは、必要な物であれば高価な商品でも売れている。

（家電量販店）…初売りで来客数が増加したため、3か月前に比べ販売量が増加している。

（木材木製品製造業）…住宅部材の需給バランスが調整され、販売価格が改善されている。

（金属工業協同組合）…電子デバイスや電気部品の一部で引き合いが増えており、注文しても入荷しにくくなっている。

○「変わらない」

（百貨店）…大晦日から降り続いた雪の影響で、初売りの売上は例年を下回るものの、以降は前年の売上を上回る日が増えている。全体的な売上は前年割れとなるものの、マイナス幅の縮小や買上点数が回復するなど、明るい兆しも見えている。

（衣料品専門店）…降雪があり防寒衣料や小物の販売量が増加したものの、消費の活性化にはつながらず、全体的な販売量、売上共に低迷している。

（乗用車販売店）…新車販売台数は好調なものの、車検代や修繕費を節約する消費者の様子がみられ、売上は低迷している。

（酒類販売店）…新年会のピークには注文も増加したが、それ以降はケース発注や高額商品の売上が低迷しており、消費者の買い控えは相変わらず続いている。

（通信会社）…携帯電話の新規購入が低迷している。

（遊園地）…期間限定の営業をしたが、寒波により三が日の来客数は低迷したものの、成人の日の連休で前年並みの売上を確保している。新型インフルエンザの流行は一服している。

（建設業）…自動車や半導体など一部の業界では明るい話題があるものの、受注量、販売価格共に厳しい状況は3か月前と変わらない。

（通信業）…取引価格の厳しい値下げ要請に対応できず、古くからの取引先でも解約されるケースが出始めている。

○「やや悪くなっている」

（商店街）…強い雪の日が続き、商店街の来客数は減少している。一部で売上の良い飲食店があるものの、物販の店でも特に衣料品店の売上が落ち込んでいる。

（コンビニ）…来客数は前年並みで推移しているものの、客単価の下落と正月三が日の天候が影響して、売上は前年を下回っている。

（一般レストラン）…消費者の財布のひもは固く、夜の来客数は大幅に落ち込んでいる。

(観光型ホテル) …正月の利用も地元客に限られ、県外客や新規客の来館がないため、館内消費や売上は例年を大幅に下回っている。周囲のホテルも同じような状況である。

(都市型ホテル) …オフシーズン対策として、ネット予約価格をビジネスホテル並に設定したものの、レストラン部門を除いて稼働率が落ち込んでいる。

(タクシー) …料金を比較してから、乗るタクシーを決める客が増えている。

(新聞社[求人広告]) …老舗の小売店や温泉ホテルの倒産により失業者が増え、地域の雇用環境は悪化している。

(職業安定所) …回復傾向にあった求人数が、前年比 25%減と再び落ち込んでいる。経済の先行きが見えないため、企業は再び求人を絞っている。

○「悪くなっている」

(スーパー) …天候の影響もあり、悪かった前月を上回って来客数が落ち込んでいる。

(住宅販売会社) …介護施設などの受注は好調なもの、戸建住宅の新規受注が落ち込んだままである。

(農林水産業) …前年の秋に豊作となった果物は、販売価格が前年の 40～50%減と大幅に下回り、原価割れしている。

(その他非製造[飲食料品卸売業]) …年初の需要は多少回復したものの、得意先の販売店ではすでに在庫が過剰な状況であり、受注量は右肩下がりである。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店) …定価品の売上はまだまだ厳しいものの、催事や集客を狙った企画が顧客の来店につながる傾向がみられる。

(乗用車販売店) …補助金が半年延長されたため、環境対応車の販売は引き続き好調に推移する。また、13 年前に消費税の駆け込みで登録された自動車が、廃車買換えの補助対象となるため、一時的な盛り上がりにも期待できる。

(建設業) …リフォームなどの工事受注が増えており、3 か月先は明るい兆しがみられる。

(広告代理店) …東北新幹線延伸やディステーションキャンペーンの準備などによる受注が増加する。

○「変わらない」

(医薬品販売店) …景気の底の悪い状況は続いているものの、悪化のテンポは弱まっており、これが続けば景気回復も期待できる。しかし、売上は一部の余裕ある層に支えられており、政府の景気対策により再度悪化の可能性もある。

(百貨店) …景気に持ち直しの傾向はあるものの、小売業のデフレ状態が続いて、メーカーは価格中心の戦略に切替えているため、売上の低迷が続く。

(コンビニ) …客単価の下落と来客数の前年割れが続いているものの、悪いながらも数か月前から横ばいの状態が続き、悪化の懸念は弱まっている。

(衣料品専門店) …必要な物は買う消費者の意識が来客数増加に現れているものの、商品単価の下落傾向に歯止めがかからない。

(家電量販店) …家計所得が横ばいか右肩下がりの状況であり、一旦冷え込んだ消費マインドは当分回復しない。

(ガソリンスタンド) …週末と平日とでガソリン価格に変動があり、適正な利益が確保できない厳しい経営が続いているため、先行きは不安である。

(旅行代理店) …節約志向の影響で、航空機を利用する国内旅行は売上が低迷しており、ファミリーや若年層にはネット予約が浸透していることから、今後も旅行代理店は厳しい経営が続く。

(出版・印刷・同関連産業) …取引先では広告宣伝費を削減しており、広告料の引下げ、紙質の見直し、チラシ折込の範囲縮小などで経費削減の傾向は今後も続く。

(電気機械器具製造業) …景気の悪化も底の状態が続いており、企業の強みを活かすべく持ち直しに取り組んでいる。

(金融業) …地域全体の景況感が最低水準にあり、目に見える景気回復は考えにくい。取引先からのヒアリングでは、景気対策の息切れを心配する声も強い。

(コピーサービス業) …官公庁、民間企業共に予算執行を控えている様子があり、新年度の予算削減が懸念される。

(その他企業[管理業]) …業績の回復している企業もあるが、大規模なリストラの影響で再就職先が決まらない人が多いため、しばらく地域経済は厳しい状況が続く。

(職業安定所) …有効求人倍率の回復傾向に一服感があり、新規求人数に減少がみられるため、当分注意が必要である。

○「やや悪くなる」

(商店街) …消費者の様子からは先行きへの不安が感じられ、今後も需要の減少が続く。

(乗用車販売店) …就職率と有効求人倍率の低迷や企業収益の悪化により、新規見込客や法人需要にも期待できない。さらに、消費者の慎重な買物が交渉期間を長期化しており、低価格車への販売台数の偏りも当分続く。

(都市型ホテル) …新年会などの宴会予約等はあるものの、宿泊部門や飲食部門では客単価、来客数共に落ち込んでおり、厳しい状況が続く。

(通信業) …競合他社の営業攻勢のなかで、新規契約の獲得が困難な状況は続き、既存契約の継続も今後は予断を許さない。

(職業安定所) …受注の低迷により、雇用調整助成金の新規利用が増加し、人員整理に追い込まれる事業所が発生している。また、百貨店の閉店や郊外大型流通店のテナント閉店など、小売業でも状況は悪くなっている。

○「悪くなる」

(スーパー) …消費者の可処分所得が減少しており、景気の先行きに見通しが立たないため、来客数、販売量、客単価共に今後も低迷する。

(高級レストラン) …景気回復が見込めず、企業の新年度予算でも交際費の削減が予想されるため、売上は減少する。

(タクシー) …街中のマンションやオフィスビルでは、入居が決まらず、電気が点かない部屋が多くみられる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上